

にこみ



No. 2
平成26年10月28日
武蔵村山市立第二小学校
校長 池谷 光二
学校運営協議会
会長 原田 英治

学校運営協議会の発足に当たって

原田 ひではる 英治

”おはようございます””行ってらっしゃい”朝7時過ぎ、ご近所の登校する子供たちとのさわやかな交流。定年後の楽しい日課となりました。ランドセルに負けないピカピカの一年生、各学年1名と6年生2名の7名の元気な二小の子供たち。

この度、ご縁がありまして第二小学校の学校運営協議会の会長を務めさせていただきますことになりました。

学校運営協議会は平成16年に法律が改正され導入された制度で、保護者や地域の方々が学校運営に参画する仕組みです。

二小は、第二分校を生き立ちとした学校です。多くの先輩の方々から引き継がれた『俺らが学校』この素晴らしい伝統をベースに、学校・保護者・地域が三位一体となって子供たちを育てるより良い環境作りに励んで参りたいと思っています。

今年の運動会も保護者や地域の皆様方の協力をいただき盛大に開催されました。赤組の勝利で終わりましたが、運動会で培われた友情・物事を成し遂げる達成感等、計り知れないものを吸収できたのではないかと思います。サポートしてくださった教職員・PTAの方々に感謝いたします。『次世代の育成は地域の宝』皆様方の御支援・御協力をお願い申し上げます。

チームをまとめた運動会を盛り上げた

応援団長の感想です

赤組団長

白組団長

私は、応援団長をやってとてもいい経験をしたと思います。なぜかという、仲間との絆も深めることが出来たからです。

最初は、練習に来なかった人がいたり、練習に集中しない人がいたりバラバラでした。しかし、中休み・昼休みと練習を重ねていくうちに絆が深まっていくのを感じました。

そして迎えた本番当日。応援団は、最後の練習を朝早くからしました。声出し・フリ、いろいろな点に気を付けて本番に挑みました。エール交換、競技中の応援、みんな練習どおりしていました。

そして、結果発表の時。赤組が勝ち、うれしさがあふれ出ました。運動会が終わると共に、優勝したうれしさと最後の運動会が終わってしまったという寂しさでいっぱいでした。でも、私は、最高の結果で終わることができたので、最高の気分でした。

ほくは応援団長になって良かったことが2つあります。

1つ目は、応援団の仲間とのきずなです。応援団の練習は、1ヶ月間ぐらいいりました。その練習をしていくと、だんだんみんなとしゃべるようになり、雰囲気良くなってきたので、本番では、みんなが練習のときより大きな声を出してくれました。

2つ目は、いい思い出ができたことです。小学校生活最後の運動会は、負けてしまったけれど、いい経験といい思い出ができました。



運動会 学校運営協議会委員の感想です



- ・運動会が学校・保護者・地域の集大成の場であり、多くの地域の方々の参加を得て、児童を含めると1500人を超える(11:00頃の目測)大盛況だった。これを機会により多くの地域の方の参加を頂き、更なる飛躍を皆の力で成し遂げたい。
- ・暑かった夏休みを元気に過ごし、9月に入り、練習を始めた運動会。朝早くから聞こえる応援団の太鼓の音、そしてブラスバンドの音色。運動会の盛り上げ役のがんばりを感じた。
- ・金曜日の準備には、5・6年生がテキパキと動いて白線引き、テント設営、手書きののぼり旗を設置したりして運動会ムードを盛り上げた。
- ・1年生から6年生まで、それぞれの成長に応じて「一生懸命」頑張っている姿を見て大変感動した。ありがとう。
- ・準備体操、ラジオ体操第一で行われ、うれしく思った。
- ・秋晴れに恵まれた日曜日に開催されたので、多くの保護者が見学を訪れ、敬老席も満員となり、盛大な運動会であった。
- ・運動会を日曜でなく土曜日にすべきではないか。土曜日だと日曜日に予備日を取れるから。
- ・各学年、一生懸命だった。1・2年生は可愛らしかった。3・4年生はソーランでいろいろと工夫されていて良かった。5・6年生の組み体操は、毎年感動。短時間でよくピラミッドを完成させたと思う。
- ・プログラムの演目を見て、ユニークな名前の種目があり、どんな競技かと楽しみだった。(うまれはじめて・でかPANリレー・ようかい玉入れ・おたすけつなひき)

★これをもとに、学校と協議し、次の教育活動を充実させて参ります。

